



日本赤十字社

成田赤十字病院

成田赤十字病院 広報誌

vol. 68

ふれあい

成田日赤に関わる方々との“ふれあい”を大切に。



日本赤十字キャラクター

ハートちゃん

医療最前線

水ぼうそうの再活性化—50歳からが要注意

ワクチンで帯状疱疹を防ごう … 2

医療現場のプロフェッショナル

理学療法士… 5

あなたのかかりつけ医… 6



水ぼうそうの再活性化—50歳からが要注意 ワクチンで帯状疱疹を防ごう

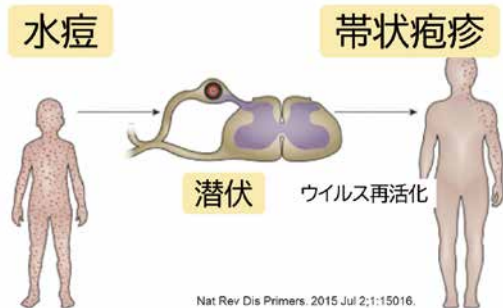
帯状疱疹とは？

帯状疱疹は、体内に潜伏中の「水痘・帯状疱疹ウイルス」が活動を再開することで発症します。

このウイルスに初めて感染すると、「水ぼうそう(水痘)」を発症します。幼少期に感染することが多く、水ぶくれを伴う赤いぶつぶつが全身の皮膚に出現します。



水ぼうそうが治った後もウイルスは脊髄の近くの神経節という部位に潜伏しています。普段は体の免疫によってウイルスの活動が抑えられているため発症することはありませんが、免疫が下がったタイミングで活動を再開することで発症するのが「帯状疱疹」です。一度水ぼうそうにかかったことがある方の約1〜3割が、生涯に一度は帯状疱疹を発症するといわれており、特に50歳以上で発症率が上がり、80歳までに3人に1人が経験するといわれています。



帯状疱疹の症状

体の左右どちらかに皮膚の痛みやかゆみが出現

発疹や水ぶくれが帯状に出現

最初はピリピリとした痛み

時間をかけて徐々に

かさぶたになって治る

治った後も痛みが長く続くことがある

特に免疫が低下している方の場合、水ぼうそうのように全身に発疹が広がることもあり、このような状態を「汎発性帯状疱疹」と表現します。



画像引用：BMJ. 2019 Jan 10;364:k5095.

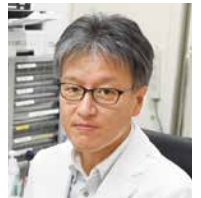
私がナビゲーターを務めます

担当科：感染症科

はせ りょう た
馳 亮太 先生

石川県出身 金沢大学卒業

感染症診療を通して、地域の皆さまのお役に立てるように活動しております。



帯状疱疹の合併症

合併症とは、ある病気が原因で体に起こる別の病気や症状のことをいい、帯状疱疹では下記のような合併症が起こることがあります。

- ・髄膜脳炎
- ・眼の角膜や結膜の炎症
- ・耳鳴り、難聴
- ・顔面神経麻痺
- ・帯状疱疹後神経痛*



※帯状疱疹後神経痛とは…

帯状疱疹の厄介な合併症の一つです。

- ・帯状疱疹が治った後でもピリピリとした痛みが長期間残ることがあります。
- ・帯状疱疹にかかった人の約2割程度が発症し、特に60歳以上の高齢者に多いことが知られています。

診断

症状や経過、皮膚の状態から医師が臨床的に判断します。血液検査で診断するものではなく、所見や経過から医師が判断します。水ぶくれの中の液を用いて検査を行うこともあります。

帯状疱疹に一度かかった場合、もう一度かかることは珍しいですが、中には繰り返す方もいます。何度も繰り返すような場合は、免疫が低下する病気が併存していないかどうか、調べることもあります。

治療

治療には、抗ウイルス薬(アシクロビル、バラシクロビル)などを用います。できるだけ早く治療を開始することが大切であり、早い段階で帯状疱疹を診断し、治療につなげることが重要です。帯状疱疹後の神経痛がある場合には、鎮痛薬や神経ブロック治療(注射をして痛みを和らげる)を行うことがあります。



日常生活で注意すること

水ぶくれができてしまった場合には、極力水ぶくれを破らないようにすることが大切です。そして、水ぶくれが完

全に瘡蓋になるまでは、小さなお子さんや免疫が弱っている人との接触を避けることが大切です。すでに水ぼうそうにかかったことがある人に感染することは通常はありませんが、まだかかったことがない人は水ぶくれの中の液に含まれるウイルスに接触することで感染する可能性があるためです。

予防するには

高齢者は神経痛が残りやすいため、予防が重要です。ワクチンが予防に有効であり、50歳以上の方に带状疱疹に対するワクチン接種が推奨されています。

ワクチン名	水痘ワクチン	带状疱疹ワクチン
		
	写真の出典：武田薬品工業(株)	写真の出典：グラクソ・スミスクライン(株)
商品名	乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」	シングリックス
ワクチンの種類	生ワクチン	不活化ワクチン
接種回数	1回	2回 (2ヶ月以上の間隔で)
接種できない人	妊婦・免疫抑制状態の人	特になし
带状疱疹予防効果	中	高
価格(1回分)	7,000～8,000円程度	20,000～25,000円程度

ワクチンには、水ぼうそうに対するワクチンと带状疱疹に特化した新しいタイプのワクチンの2種類があります。

図左の「水痘ワクチン」は、もともと水ぼうそうを予防するためお子さんに定期接種するもので、これを大人に再度接種することで带状疱疹を予防できます。こちらは生ワクチンで、病原性を弱めたウイルスが含まれているため、妊娠されている方や免疫を弱らせる治療を行っているような方は基本的に接種できません。带状疱疹ワクチンに比べると予防効果は劣るといわれ、値段が安いという特徴があります。

それに対して図右の「带状疱疹ワクチン」は、シングリックスという名称の不活化ワクチンになり、2カ月以上の間隔を空けて2回の接種が必要です。こちらのワクチンの方が価格は高いですが、予防効果も高いという特徴があります。



全国で定期接種がスタート

2025年4月より、日本全国で带状疱疹ワクチンの定期

接種が始まっています。各自治体のホームページなどで案内され、令和7年度の定期接種対象者は、同年度に65歳になる方、70歳、75歳と5歳刻みの年齢になる方に案内が届くという仕組みになっています。基本的には65歳以上の方が対象になっていますが、接種当日に60～64歳の方で免疫不全ウイルス、またはHIVに感染されていて特別に免疫状態が弱っている方も接種対象となっています。

接種費用は自治体により異なりますので、お住まいの地域の案内をご覧ください。

带状疱疹ワクチンQ&A

Q安全？接種後具合悪くならない？

Aいずれも安全性の高いワクチンですが、他のワクチンと同様にごく稀にアナフィラキシーなどが起こることがあります。注射部位の疼痛や発熱、倦怠感などは一定の割合で起こりますが、ほとんどの場合自然軽快します。

Qどちらのワクチンを接種するのがいい？

A带状疱疹ワクチンの効果が優れているので、価格が高いことを許容できれば、带状疱疹ワクチンの接種をお勧めします。

Q持病がありますが、接種しても大丈夫？

A水痘ワクチンは生ワクチンであるため、妊娠中の方や免疫を弱らせる抗がん剤などの使用中の方には接種できません。带状疱疹ワクチンは不活化ワクチンであるため、免疫の状態に関わらず接種が可能です。

Q一度带状疱疹にかかったことがあっても、ワクチンは接種した方がいい？

A過去に带状疱疹にかかった方でも、再度かかってしまうことがあるので、接種が推奨されます。带状疱疹にかかった後、どの時期にワクチンを接種するのがいいかについては明確な知見はありませんが、1年程度の間隔を空けて接種するのがいいのではと考えられています。

Q何年後かに追加接種する必要はある？

A追加接種は推奨されていません。

Q2回目の接種が、1回目から2カ月以上経過してしまった場合はどうしたらいい？

A通常は1回目の接種から2カ月～6カ月以内に接種することが推奨されていますが、それ以上の間隔があいても1回目からやり直す必要はありません。

しかしながら、自治体の定期接種の制度を利用する場合には、同じ年度内の接種である必要があるため、定期接種として実施する場合には同一年度内の接種をお勧めしています。

まとめ

- ・带状疱疹は体内に潜伏していた水痘・带状疱疹ウイルスが、再度勢いを増した結果発症する病気です。
- ・皮膚の水ぶくれや痛みが出現して、神経痛が長期間残ることもあり、厄介な病気です。
- ・带状疱疹ワクチンが予防に有効で、50歳以上の方への接種が推奨されています。2025年4月から定期接種の制度が始まったので、対象者は積極的に接種を検討しましょう。





初めてでも大丈夫!

「病院ボランティア会体験研修会」開催

成田赤十字病院では、患者さんに「心の安らぎ」を届けるため、たくさんのボランティアの方々が日々病院を支えています。

この度、病院内で実際に行われている活動や、一次救命処置を体験できる「ボランティア体験研修会」を開催します。

日時：令和7年11月11日(火) 午前9:30～11:30

会場：成田赤十字病院 アメニティ棟2階大会議室

募集条件：赤十字事業に関心があり、心身ともに健康な方で満18歳以上(学生を除く)

「誰かの役に立ちたい」「地域のために何かしたい」、そんな気持ちを持つ方の参加をお待ちしています。やってみたら意外と楽しい! そんな発見があるかもしれません。

まずは体験から、気軽に参加してみませんか?

申込みは、下記窓口へご連絡いただくか、QRコードよりお申込みください。

担当：成田赤十字病院 社会課

電話：0476-22-2311

メール：shakai@narita.jrc.or.jp



申込みはこちら



今年も開催!

成田赤十字病院 ふれあい広場2025

当院の一大イベント「ふれあい広場」を今年も開催します!

このイベントは、地域の皆さまとの交流を通じて、赤十字の活動や当院の役割を知っていただくことを目的とした、体験型イベントです。

会場では病院で働く医師や看護師・薬剤師、また災害が起きた時にいち早く駆けつける赤十字救護員のお仕事体験など、楽しく学べる企画をたくさん用意しています。(イベントの内容は変更の場合があります)

ぜひ、ご家族ご友人をお誘いあわせの上、参加してください!

日付：令和7年12月20日(土)

会場：成田赤十字病院

参加費：無料



当院ホームページ

11月頃から当院のホームページやSNS(X、Instagram、Facebook)などでイベントの詳細を発信していきます。お楽しみに!



画像は昨年の開催の様子です。

理学療法士(リハビリテーション科)

ICU(集中治療室)から退院まで——“動ける喜び”を取り戻すために

▶理学療法士ってどんな仕事？

けがや病気、加齢などにより体が思うように動かなくなった方に対して、身体機能の回復をサポートする専門職です。具体的には、寝ている状態から起き上がる、立ち上がる、歩くなど、人が生活するうえで欠かせない基本的な動きの回復を支援しています。

急な病気やけがによる体の変化に、不安やストレスを抱える方もいらっしゃいます。元の生活に少しでも早く戻れるよう、一人ひとりの気持ちに寄り添い、真摯に向き合うことが大切な仕事だと考えています。

▶この道を選んだきっかけ

曾祖母が足を骨折しリハビリを受ける様子をそばで見ている時に、「こういうお仕事があるんだな」と、理学療法士という職を知ったことがきっかけでした。

また、幼少期、私は「口蓋裂(生まれつき上あごの一部が閉じず、口と鼻が繋がったままになっている状態)」という病気で、発音がしづらいという特徴があり、言語聴覚療法を受けた経験も大きく影響しています。リハビリや手術を経て上手く発音ができるようになったことのありがたみは、大人になってからも強く感じています。

自分自身の経験から、患者さんが身体を思うように動かせず、不安になる気持ちに少しでも寄り添うことを日々心掛けています。リハビリを繰り返し、重症だった患者さんが元気に歩いて退院される姿を見ると、嬉しさとともに、日々の努力が報われたと感じています。

▶より質の高い理学療法のために

私は「集中治療理学療法士」という専門資格を新たに取得しました。

以前は、ICU(集中治療室)では命を救うことが最優先で、リハビリは病状が安定してから行うのが一般的でした。しかし近年、できるだけ早く安全に体を動かし始めることで、筋力の低下や合併症を防ぎ、退院を早められることが広く認識されるようになり、理学療法士の知識・技術を標準化し質を高めるために、2023年から認定制度が始まりました。

ICUにはさまざまな傷病の患者さんが入院されるため、資格を取るには重症患者さんの病態や緊急時の対応、人工呼吸器など各種医療機器の理解・安全管理など、幅広い知識と臨床経験が必要です。勉強は大変でしたが、身に付けてきたことが現場で着実に役立っていることを日々感じています。

▶理学療法士を目指す方へのメッセージ

理学療法士は、患者さんの人生に直結するやりがいのある仕事です。近年養成学校が増加し、それに伴い有資格者も着実に



やま だ こうへい
理学療法士 山田 航平さん

山田さんのある1日の業務

8:30	出勤
8:40	朝礼
9:00	リハビリ開始
12:15	昼食
13:00	リハビリ・カンファレンス・カルテ記載
17:00	業務終了



運動指導の様子



集中治療理学療法士バッジ



多職種スタッフと患者さんについて情報共有

増加しています。そのような中で、目指す理由や資格を取った先にやりたいことを具体的に考え、自身を高めていくことが自分の強みになると思います。

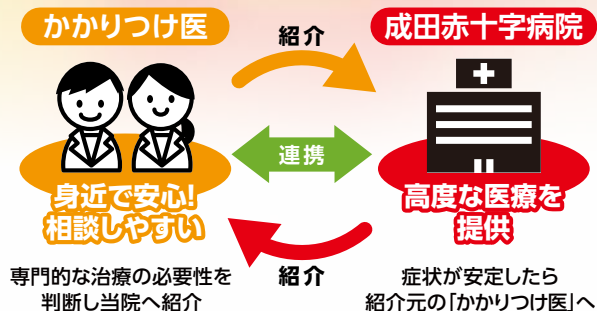
お持ちですか?

地域医療連携

あなたのかかりつけ医

当院では、適切かつ高度な医療サービスを患者さんに提供するために「かかりつけ医」(地域の開業医)と連携しています。身近で安心な、相談しやすい「かかりつけ医」をもちましょう。

※当院では、内科、外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、脳神経内科、歯科・口腔外科、整形外科の初診は、紹介状をお持ちの患者さんのみとなります。



しすい皮膚科

寄藤 和彦 院長

成田赤十字病院皮膚科に約15年間勤務した後、2007年からJR酒々井駅前で「しすい皮膚科」を開院いたしました。酒々井町は、成田市と佐倉市の間に人口約2万人の小さな町ですが、「日本でいちばん古い町」とされています。皮膚科専門医に受診するため、成田市や佐倉市まで電車で通院されていたお年寄りや子どもさんにとって、通院しやすくなったと喜ばれております。今後も成田赤十字病院や近隣の大学病院とも医療連携しながら、地域の皆さまにとって「相談しやすい皮膚科医院」として、診療を続けていきたいと思っております。



診療メモ

〒285-0923 千葉県印旛郡酒々井町東酒々井1-1-121

TEL 043-496-4112

診療時間 9:00～12:00、15:00～18:00

※火曜は手術日

※土曜は隔週で午前のみ

休診日 木曜、土曜午後、日曜・祝日



やまゆり皮膚科クリニック

当院は2016年4月にJR佐倉駅の近くで開院しました。地域の皆さまの「かかりつけ皮膚科」として、湿疹やアトピー性皮膚炎、水虫、にきびなどの一般的な皮膚疾患から、ほくろや皮膚腫瘍の診断・治療、皮下膿瘍や陥入爪の手術まで、幅広く対応しております。旭中央病院皮膚科で18年勤務していた経験を生かして、小さなお子様からご高齢の方まで、安心して受診いただけるよう、丁寧な診療と分かりやすい説明を心掛けています。精査が必要と思われる症例に対しては、成田赤十字病院をはじめとした近隣の基幹病院と連携して、紹介・逆紹介を積極的に行っております。今後ともよろしくお願いいたします。



永山 博敏 院長



診療メモ

〒285-0819 千葉県佐倉市寺崎北1-6-1

TEL 043-312-3749

診療時間 8:30～12:00、15:00～18:00

休診日 木曜、土曜午後、日曜・祝日



成田赤十字病院基本理念

赤十字の基本理念に基づき、患者さんの権利と医療人としての倫理を守り、医療の質の向上と患者さん中心の「こころあたたかい医療」の実践に努めます。

成田赤十字病院 広報誌 ふれあい vol.68

〒286-8523 千葉県成田市飯田町90番地1

TEL.0476-22-2311(代) <https://www.narita.jrc.or.jp/>



成田赤十字病院基本方針

1. 地域の皆様から信頼される病院を目指します。
2. 救急医療の充実、安全でより高度な医療の提供に努めます。
3. 地域の医療・福祉との連携強化に努めます。
4. 国内外の医療救援活動に積極的に参加します。
5. 健全な経営と働きがいのある病院を目指します。
6. 赤十字病院グループの一員として赤十字活動の普及に努めます。